

主劇場

客席用の音響台

長机と箱馬を使用して、3尺×6尺（900mm×1800mm）の MDF パネルを客席椅子の背もたれに掛け、音響テーブルにする方法です。

3尺×3尺（900mm×900mm）の音響専用台を2台組み合わせる方法です。長机の方法より15cm程度、高くなります。



主劇場

客席用の音響台



主劇場

長机を使用した時の高さ

音響操作をするには丁度いい高さです。

黒布等で養生して見えないようにします。



主劇場

音響専用台を使用した時の高さ

音響操作をするには少し高いかもしれません。バス椅子に座ってのオペレートや立ちでのオペレートをお勧めします。



主劇場

長机台を使用した時、前の客席との間隔



長机を使用した卓台の場合、写真の通り前の席との間隔はありません。お席の開放はお勧めしませんが、主催者様とご相談下さい。

主劇場

音響専用台を使用した時、前の客席との間隔



音響専用台を使用した場合、卓台前方の席との間隔は写真の通りです。お席を開放するか判断は主催者様とご相談ください。

主劇場

客席 T 列～V 列と音響 PA 盤の位置



T 列 1 4 番席の足元に音響 PA 盤があります。電源や音声、インカム回線はここから取ります。

主劇場

客席 T 列 1 4 番、足元の音響 PA 盤



主劇場

客席 T 列 1 4 番、足元の音響 PA 盤

ここから電源や回線を取りますと、コネクタ類が T 列
1 4 番席足元の障害物になりますので、お気をつけく
ださい。

